

宮崎大学 病院ニュース



2026

3

Ver.3



Contents

○呼吸器外科

～呼吸器外科の魅力にせまる～

○診療日変更について

呼吸器外科



当院の呼吸器外科では胸部の肺、気管・気管支、縦隔、胸膜、胸壁などの臓器を対象に、**肺癌を中心とした手術**を行っております。麻酔科、呼吸器内科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科と連携をとって患者さんにベストな治療が行える体制を整えております。

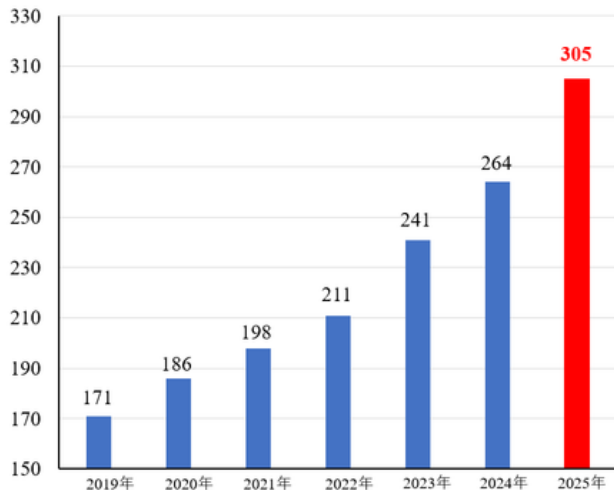
肺癌における低侵襲手術



当科での手術の最大の特徴は、術後の患者さんの回復の早さです。通常の肺癌患者さんの手術では、患者さんの痛みの原因となる胸腔ドレーン（胸に入る管）、不快となる尿カテーテル（おしっこの管）や硬膜外麻酔チューブ（背中に入れる痛み止めの管）は留置しません。術後も原則として、集中治療室や回復室には入らず、手術前にいた一般病棟の部屋に戻ります。術後2時間前後で歩行と飲食を開始して、その後は自由に病棟内を歩行して頂き、順調に経過すれば手術翌日から自宅退院可能となります。このような早期離床、短期入院、早期社会復帰を実現できた大きな理由の一つが、ロボット支援下手術、完全鏡視下手術の導入、開始でした。熟練したロボットもしくは胸腔鏡といった低侵襲手術により、従来の胸を大きく開く開胸手術時代とは比べものにならない程、術後の患者さんの回復が早くなっております。

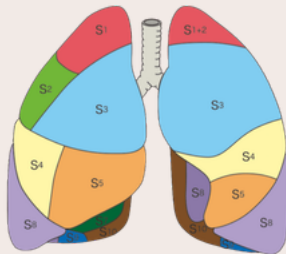
最近の手術件数-毎年増加-

2025年全身麻酔手術件数と内訳



	件数
肺悪性腫瘍	196
縦隔腫瘍	14
良性腫瘍, 炎症性肺疾患	25
気胸	13
膿胸	19
外傷	10
その他	28
合計	305

肺癌に対するもう一つの低侵襲手術 「肺区域切除」



肺癌の低侵襲手術には、ロボット支援下手術、胸腔鏡手術といった傷口を小さくする手術の他に、肺をできるだけ温存し、小さく切除する手術「肺区域切除」があります。「肺区域切除」は、腫瘍のある区域のみを切除するという通常の肺葉切除よりも技術的に難易度の高い手術となります。

当科では積極的に、より肺機能を温存できる「肺区域切除」をロボット支援下、胸腔鏡下で行っており、2024年は70人を超える患者さんに「肺区域切除」を行いました。当院は九州地方で最も「肺区域切除」を行っている病院です。

診療科長からメッセージ



前田 亮 MAEDA RYO

肺癌をはじめ様々な胸部疾患で悩まれている方々に、最先端で高水準の治療を提供すべく、日々努力しております。皆様の治療に携われる機会が頂けます様、お気軽に当科にご相談頂ければ幸いです。

また日頃患者様をご紹介して頂いている宮崎県内の先生方には、この場をお借りしまして心から御礼申し上げます。地域に根差した診療を目指して、少しでも先生方のお役に立ちたいと考えております。肺・縦隔疾患を疑う患者様がおられましたら、レントゲン一枚などでも遠慮なくご相談頂ければ幸いです。



2002年京都大学卒業後、京都大学呼吸器外科に入局。大学及び関連病院で臨床研修後、2009年より国立がん研究センター東病院胸部外科で臨床研修。2012年東京医科歯科大学呼吸器外科助教を経て、2018年より宮崎大学呼吸器乳腺外科に勤務。現在まで経験呼吸器外科手術件数は2500例以上。



猪俣先生おしえて！

肺癌で命を落とさないために

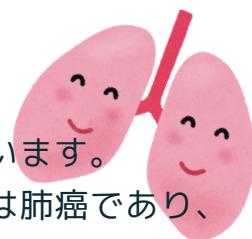
先ほどご紹介した肺癌について
肺癌で命を落とさないためには
どうしたらよいのでしょうか？

今回、呼吸器乳腺外科 猪俣先生に
大事なことをズバリお聞きしました！



早期発見、早期治療を！

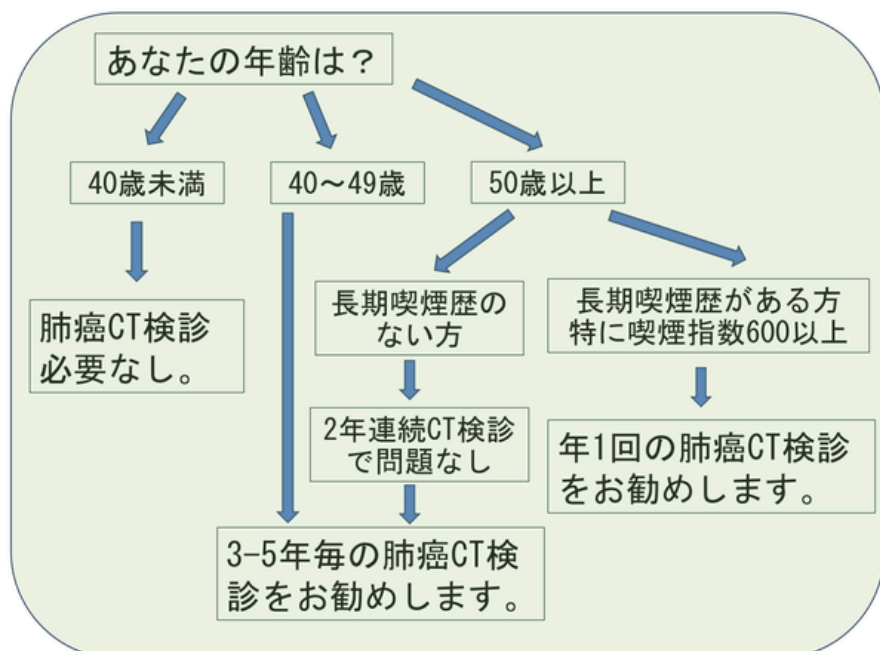
近年、肺癌の治療は目覚ましい進歩をとげています。
それでも、いまだに日本での癌死亡のトップは肺癌であり、
残念なことに毎年12万人の方が肺癌で亡くなられています。
肺癌による死亡率を低下させるためには、早期に肺癌を発見
して早期に**根治手術**を行うことが最も重要です。



早期発見にはCTによる肺癌検診を！



最近、主にたばこを吸われていた方を対象とした大規模臨床研究の結果が海外から報告
されました。低線量CTによる肺癌検診を行うことで、20～39%も肺癌による死亡率を低
下していたとのことです。通常のレントゲン写真よりもより早期に肺癌を発見すること
のできるCTによる肺癌検診が世界的にも普及していくことが予測されています。

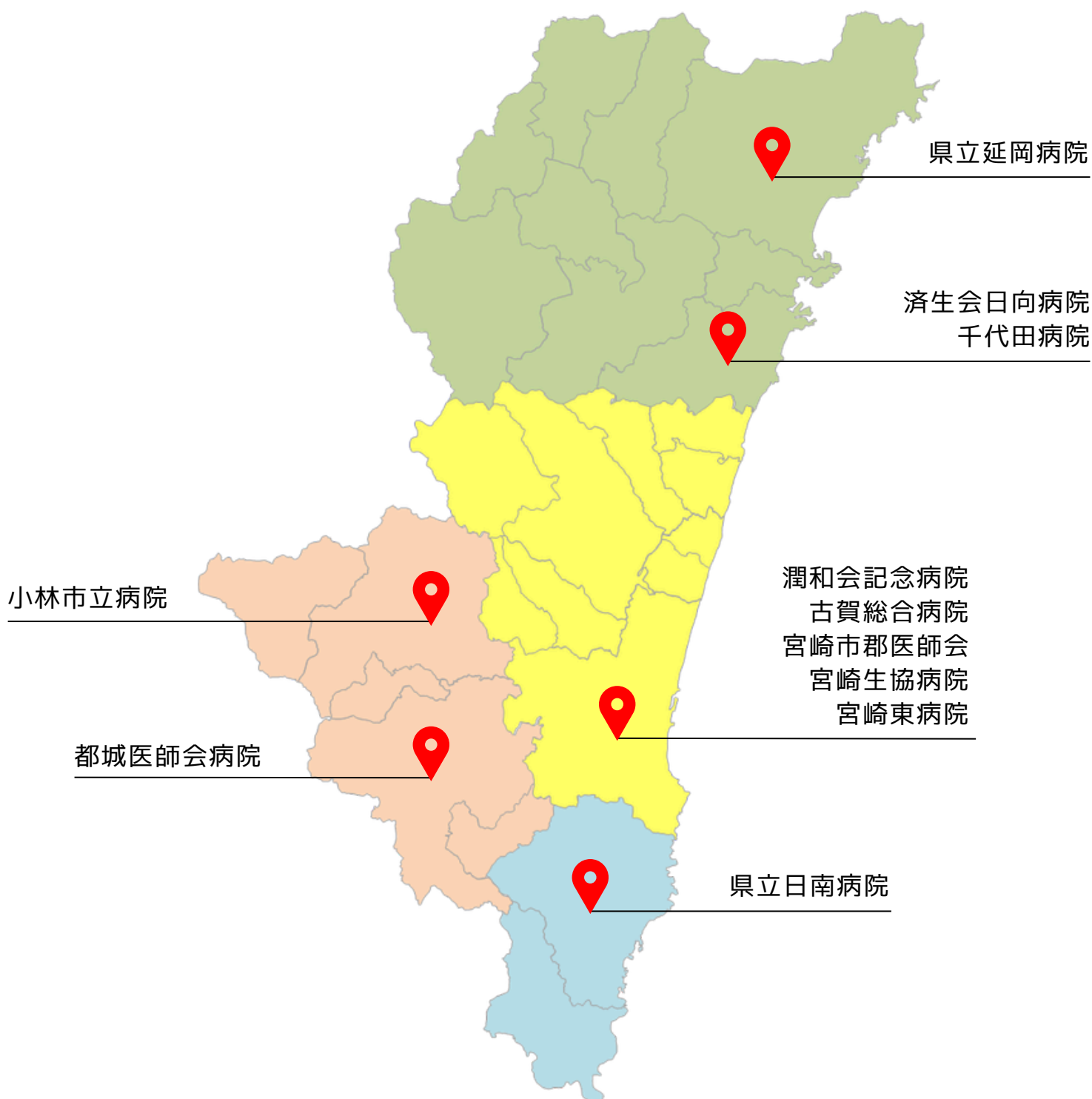


肺癌の早期発見のために、CTに
よる肺癌検診を受けて頂くのは
いかがでしょうか。ご自身のた
めにも、また大切な家族を悲し
ませないためにも、肺癌の早期
発見、早期治療を！



県内連携先病院一覧

当院では、地域の複数の医療機関と連携しています。
患者さんが安心して医療を受けられる体制づくりを進め、
地域全体で支え合う医療の実現を目指しています。



「木曜日休診・土曜日診療」運用開始

2026年4月より、本院は「木曜休診・土曜診療」の運用を開始いたします。
これに伴い、以下の5つの柱を軸として、**土曜日**の診療運営を行います。

※診療日変更に関する詳細は、本院ホームページの「診療日変更のお知らせ」をご参照ください。

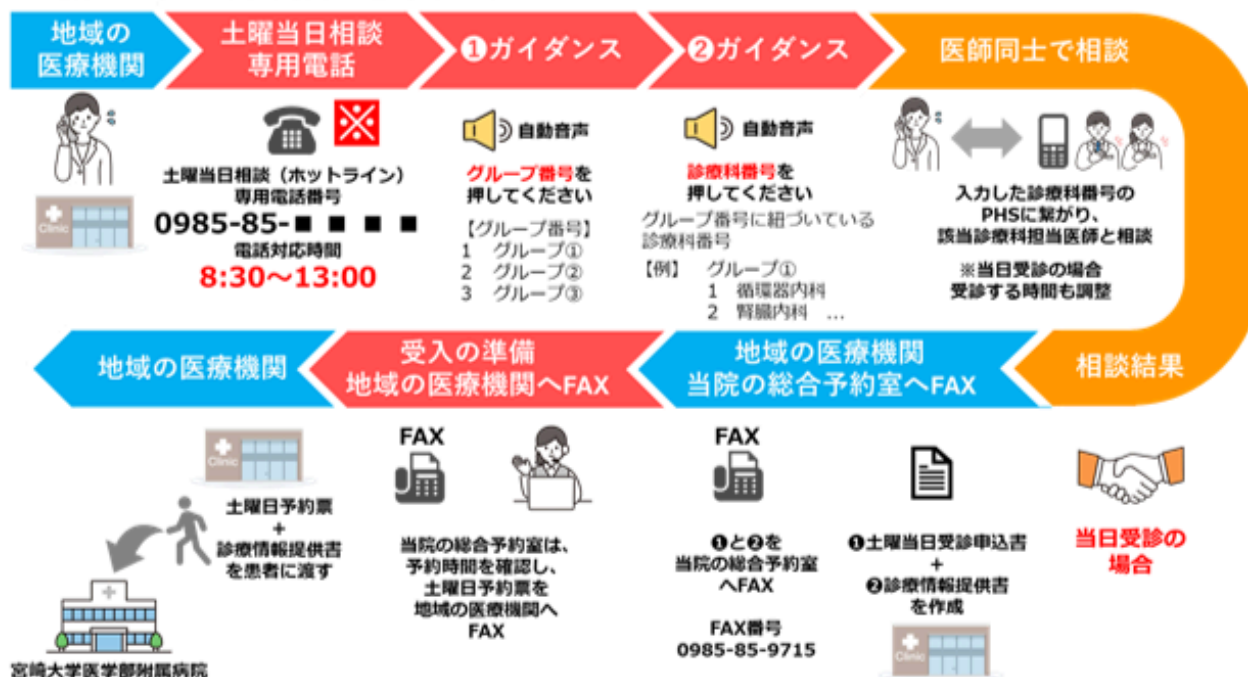
01	02	03	04	05
初診枠の設定	特殊再診	紹介受入	土曜日入院	シフト工夫
土曜初診枠の設定 午前9時～12時に 初診枠を設定し、 専門外来として機能	診療科特有の再診対応 土曜は、原則として通 常の再診は行わず、診 療科の特性に応じた 「特殊再診」を実施	他医療機関からの 土曜当日紹介体制の 構築 「土曜午前に診察 (他病院) → 午後に 紹介→当日受診」が 可能な仕組み	土曜入院の積極的活用 週明けの手術・治療を スムーズに、土曜入院 を標準化	勤務シフト運用の工夫 変形労働時間制を活用 し、兼業（地域貢献） への影響を最小限に

他医療機関からの土曜当日相談の流れ（ホットライン）について

土曜の午前中に地域の医療機関を受診した患者さんが、土曜当日に本院各診療科の担当医師と直接電話にて相談できる体制を構築しました。

03 他医療機関からの土曜当日相談の流れ（ホットライン）

■土曜の午前中に地域の医療機関を受診された患者について、当院の該当診療科担当医師と直接電話にて相談できる体制を構築しました



❌ 土曜当日相談（ホットライン）専用電話の利用につきましては、下記URLまたはQRコードよりお申込みいただいた医療機関に対し、個別にお知らせいたします。

▶ 土曜当日相談（ホットライン）専用電話利用のお申込みはコチラ
<https://forms.gle/nfdNw8GEFJUoXs158>



項目	診療科等名	月	火	水	木	金	土	初 診		再 診		
								予約	日時変更	予約	日時変更	
診療	循環器内科	○	△	○▲		○	○	紹介元医療機関→ 総合予約室(9715) へFAXでの申込 平日9:00～16:00 医療機関からのみ 予約可能です。	電話のみ (9606)	診療科受診時に医師が次回予約	患者さん ↓ 総合予約室 電話のみ(1225)	
	腎臓内科	○▲	△	○▲		△	○					
	血液内科	▲	○▲	○▲		○▲	○					
	脳神経内科			△		○	○▲					
	呼吸器内科	○				○	○					
	内分泌・代謝・糖尿病内科	○	△	△		○	○					
	膠原病内科	△	○	△		△	○					
	感染症内科	▲	○			▲	○					
	消化器内科	消化管内科	○	○	○		○					○
		肝臓内科	△	○▲	○▲		△					○
		胆膵内科	△	△	△		△	○				
	臨床腫瘍科	○	○	△			▲					
	精神科	○	○	△		○	○					
	小児科	○	○	○		○	○▲					
	肝胆膵外科					○	○					
	消化管・内分泌・ 小児外科	上部消化管グループ		○			○	○▲				
		下部消化管グループ		○			○	○▲				
	小児外科		○	○			○	○				
	心臓血管外科		○		○			○				
	呼吸器外科				○			○				
	乳腺外科		○				○	○				
	光学医療診療部・消化器病センター		○	○	○		○	○▲				
	形成外科		○	○	○			○▲				
	整形外科	上肢	△	○	○			○				
		下肢	△	○	○		△	○				
		脊椎	△	○	○		○▲	○				
		スポーツ	△	○	○			○				
	皮膚科			△	○▲		○▲	○				
	泌尿器科		△	○			△	○				
	眼科		○▲	○▲	○▲		○▲	○▲				
	耳鼻いんこう・頭頸部外科		○	○	○		○	○				
	産科婦人科		○	○	○		○	○				
	放射線科		○		○		○	○				
麻酔科		○▲		○		○	○▲					
脳神経外科		○▲		○▲			○					
歯科口腔外科・矯正歯科			○	△		○	○					
緩和ケア外来	身体	○		○		○						
	精神		○									
妊婦と薬外来	※午後のみ			○		○						
助産師外来		△	△	△		△						
HTLV-1陽性リウマチ専門外来	※午前のみ		○									
生殖カウンセリング	※午後のみ	○		○		○						
遺伝カウンセリング		○	○	○		○	○					
がんゲノム外来		申込時または申込後にご案内					医療機関及び患者さん→電話(9766)					
高次脳機能障害外来 ※初診は第1火曜日のみ (休診日の場合は第2火曜日)		△	○	△				紹介元医療機関→ 総合予約室(9715) へFAXでの申込	電話のみ (9606)	電話(9849)		
口唇口蓋裂・口腔育成センター		○	△	○		○		電話(9887)				
難聴支援センター		△	△	△		△		電話・FAX(9746)				
治療	歯科インプラント	○	△	○		○		電話(9385)	電話(9887)			
検査	CT、MRI、PET-CT	申込時または 申込後にご案内					紹介元医療機関→ 総合予約室(9186) へFAXでの申込		電話のみ(9606)			